

B-1 単元・評価計画

第3学年 理科「じしゃくのふしぎをさぐる」 単元・評価計画 (総時数11時間)

次	小単元名・目標	主な学習活動	評価の観点				評価規準 (評価方法)
			関	思	技	知	
一 (2)	導入 ・磁石の性質に興味を持ち、磁石のふしぎを見つけることができる。	・磁石と身の回りのものを使って、じしゃくのふしぎを見つけカードに記入する。	○				◆磁石の性質を進んで調べ、疑問点を見いだそうとしている。 (行動観察・記録分析)
	・話し合いの中で、発見したふしぎの共通点や疑問点をまとめることができる。	・自分の発見と友だちの発見を整理し、見通しを持って調べる計画を立てる。			○		◆話し合いの中でふしぎの共通点や疑問点をまとめ、これから調べることをまとめている。 (発言・記録分析)
二 (1)	じしゃくにつくもの ・磁石に引き付けられるものと引き付けられないものを比較しながら調べることができる。	・磁石にはどんなものがつき、どんなものがつかないかさがす。			○		◆どんなものが磁石につくか調べ、図や表を使ってまとめ、発表している。 (発言・記録分析)
三 (2)	じしゃくのか ・磁石と鉄との間を鉄以外のものでも空ける実験を考えることができる。	・磁石の力は、離れていても働くかどうかを調べる方法を考える。		○			◆磁石と鉄との間を空けても、引き付ける力が働くかどうかを確かめるための実験方法を考えている。 (発言・記録分析)
	・実験を通して、磁石と鉄との間を空けたり物をはさんだりしても、引き付ける力が働いているかどうかについて考えることができる。	・磁石と鉄との間を鉄以外のものでも空けて、調べる。		○			◆磁石と鉄との間を空けたり、物をはさんだりしても、引き付ける力が働いているかどうかについて考えている。 (行動観察・記録分析・発言)
四 (2)	じしゃくのきよく ・磁石のいろいろな部分の強さを調べることができる。	・磁石がものを引きつける力や、よく引きつけるところを調べる。	○				◆磁力の働き方を、工夫して調べようとしている。 (行動観察・記録分析)
	・鉄でできているものを磁石にすることができる。	・釘などで磁石づくりをする。				○	◆磁石には2つの極があり、磁石に引き付けられるものには、磁石をつけると磁石になるものがあることがわかる。 (行動観察・記録分析)
五 (2)	じしゃくのきよくのせいしつ ・磁石の極に注目して、興味を持って調べることができる。	・磁石どうしを近づけるとどうなるかを予想し、様々な方法で調べる。	○				◆磁力の働き方について興味をもち、きまりを見つけようと意欲的に取り組んでいる。 (行動観察・記録分析)
	・磁石を自由に動くようにした時の磁石の性質を見出すことができる。	・磁石を自由に動くようにするとどんな動きをするか調べる。		○			◆磁石を自由に動くようにすると南北に向いて止まるという性質を見出している。 (行動観察・記録分析)
六 (1)	まとめ ・学習したことをまとめることができる。	・まとめの問題に取り組む。 ・学習したことをまとめる。				○	◆磁石に引きつけられるものとその金属の磁化、空間を隔てても働く磁力、方位磁針、二つの極の相互作用などの磁石の性質について理解している。 (確認テスト・記録分析)
七 (1)	補充・発展 ・本単元でもう一度試したい実験を行い、磁石の性質について確かめることができる。 ・ゴム磁石を半分に切ったときの様子を、これまで学習したことをもとに調べることができる。	・磁石の性質について確かめる。 ・ゴム磁石を半分に切ったときの様子を調べることができる。					

